

問1 8月から9月ごろにかけての時期における、台風と日本との関係について正しいものはどれですか。

1. 日本付近で消えることが多くなる。 2. 日本付近から遠ざかることが多くなる。 3. 日本付近で発生することが多くなる。 4. 日本付近に近づくことが多くなる。

問2 雲の画像において、台風はどのような形に見えますか。

1. 白いうずのような形 2. まっすぐな線の形 3. バラバラの点の形 4. 四角い箱のような形

問3 台風が発生する場所の、日本から見た方角と、その場所の温度の特 徴について正しく説明しているものはどれですか。

1. 日本よりも東にあり、つめた。 2. 日本よりも北にあり、つめた。 3. 日本よりも南にあり、あたたかい。 4. 日本よりも西にあり、あたたかい。

問4 日本付近の雲の動きにともなって、天気はどのように変化していきますか。

1. 東から西へと変化していく 2. 西から東へと変化していく 3. 南から北へと変化していく 4. 北から南へと変化していく

問5 台風が進む方向に対して、右側と左側では風の強さにどのようなちがいがありますか。

1. 左側の方が風が強く、右側の方が風が弱い。 2. 右側の方が風が強く、左側の方が風が弱い。 3. 右側も左側も、風の強さはまったく同じである。 4. 台風の進む速さによって、右側と左側の風の強さは常に入れかわる。

問6 空全体を10としたときに、空に見えている雲の割合を表したものを何といいますか。

1. 雲の動き 2. 雲の高さ 3. 雲の種類 4. 雲の量

問7 日本付近の雲は、ふだんどの方角からどの方角へと動いていますか。

1. 西から東 2. 東から西 3. 南から北 4. 北から南

問8 夕焼けが見えるということは、どの方角の空が晴れていることを示していますか。

1. 東の空 2. 南の空 3. 西の空 4. 北の空

問9 気象衛星やアメダスがなかった昔に、夕焼けや雲の様子などを見て天気を予測していた知恵のことを何といいますか。

1. アメダス 2. 天気予報 3. 気象観測 4. 天気に関する言い伝え

問10 「ツバメが低く飛ぶと、どのような天気になる」という言い伝えがありますか。

1. 雪が降る 2. 晴れになる 3. 雨が降る 4. 強い風が吹く

問11 台風のまわりをふく風は、どのような形の流れになっていますか。

1. うず状 2. まっすぐな線状 3. 波のような形 4. うずのない丸い形

問12 「わた雲」とも呼ばれる積雲は、どのような天気の日によく見られる雲ですか。

1. 大雨の日 2. 晴れた日 3. 雪の日 4. 台風の日

問13 冬の太平洋側で晴れる日が多くなるのは、山をこえてふいてくる空気がどのような状態になっているからですか。

1. つめた雪をたくさんふらせる状態 2. 水蒸気が多くなって湿っている状態 3. あたたかい雨をたくさんふらせる状態 4. 水蒸気が少なくなって乾燥している状態

問14 「山に傘のような雲（かさ雲）がかかると雨が降る」という、山にかかる雲のようすから天気を予想する昔からの教えを何と言いますか。

1. 気象衛星の観測 2. 天気図のきまり 3. 山にかかる雲の言い伝え 4. アメダスの記録

問15 台風の進路予想図で、台風の中心が進むと考えられる範囲を円で表したものを何といいますか。

1. 予報円 2. 台風の日 3. 暴風域 4. 強風域

答え合わせ・解説 No.1

問1	答え 4 日本付近に近づくことが多くなる。	8月から9月ごろにかけては、台風が日本付近に近づくことが多くなる時期です。
問2	答え 1 白いうずのような形	雲の画像において、台風は白いうずのように見えるという特 徴 ^{とくちょう} があります。
問3	答え 3 日本よりも南にあり、あたたかい。	台風が発生するのは、日本よりも南のほうにある、あたたかい海の上です。
問4	答え 2 西から東へと変化していく	天気は雲の動きにつれて、西から東へと変化していきます。
問5	答え 2 右側の方が風が強く、左側の方が風が弱い。	台風の進行方向の右側では風がより強くふき、左側では風が弱まるという特 徴 ^{とくちょう} があります。
問6	答え 4 雲の量	空全体を10としたときの、空に見られる雲の割合のことを「雲の量」といいます。 ^{わりあい}
問7	答え 1 西から東	日本付近にある雲は、およそ西から東へと動いています。
問8	答え 3 西の空	太陽が沈む ^{しず} 西の空が晴れていると夕焼けが見えるため、西から天気が回復することを示しています。
問9	答え 4 天気に関する言い伝え	気象衛星やアメダスがなかった昔に、夕焼けや雲の様子から天気を予測していた知恵 ^{ち え} を「天気に関する言い伝え」といいます。
問10	答え 3 雨が降る ^ふ	「ツバメが低く飛んだら雨が降る ^ふ 」という、天気に関する有名な言い伝えがあります。
問11	答え 1 うず状	台風のまわりでは、うず状の風がふいています。
問12	答え 2 晴れた日	積雲は、天気が良い晴れた日によく現れる特 徴 ^{とくちょう} があります。
問13	答え 4 水蒸気が少なくなって乾燥している状態 ^{すいじょうき かんそう}	日本海側で雪をふらせた空気は水蒸気 ^{すいじょうき} が少なくなって乾燥 ^{かんそう} します。この乾燥 ^{かんそう} した空気が山をこえてふくため、太平洋側は晴れやすくなります。
問14	答え 3 山にかかる雲の言い伝え ^{かさ}	山に傘 ^{かさ} のような雲がかかると雨が降る ^{ふる} というような、山にかかる雲のようすから天気を予想する昔からの教えを「山にかかる雲の言い伝え」と言います。
問15	答え 1 予報円	台風の中心が進む（動いてくる）と考えられる範囲 ^{はんい} を円で表したものを「予報円」といいます。

問1 台風が日本に近づくと進路が東よりに曲がることが多いですが、これは日本の上空にどのような風がふいているためですか。

1. 夏だけにふく強い南風 2. 1年中ふいている強い西風 3. 冬だけにふく強い北風 4. 1年中ふいている強い東風

問2 台風の目の部分では、天気や風の様子はどのようになっていることが多いですか。

1. 風だけがとても強くふいている 2. 強い風と激しい雨がふり続けている 3. 風も雨もやんでいることが多い 4. 雨だけが激しくふり続けている

問3 空全体を10としたとき、天気が「晴れ」になるのは、雲の量がどの範囲のときですか。

1. 0から8のとき 2. 9から10のとき 3. 5から10のとき 4. 0のときだけ

問4 空全体を10としたときに、空に見えている雲の割合を表したものを何といいますか。

1. 雲の動き 2. 雲の高さ 3. 雲の種類 4. 雲の量

問5 冬の日本海側の天気において、日本付近でふく風が山にぶつかった後、雲をつくるためにどのように動きますか。

1. 下へと動く 2. 上へと動く 3. 左右に分かれて動く 4. その場で止まる

問6 台風が近づいたときに、強い風が吹いたり、短い時間に大雨が降ったりすることによって引き起こされる、人々の生活や自然への被害のことを何といいますか。

1. 台風の目 2. 台風の進路 3. 台風による災害 4. 台風による恵み

問7 冬の太平洋側で晴れる日が多くなるのは、山をこえてふいてくる空気がどのような状態になっているからですか。

1. つめたい雪をたくさんふらせる状態 2. 水蒸気が多くなって湿っている状態 3. あたたかい雨をたくさんふらせる状態 4. 水蒸気が少なくなって乾燥している状態

問8 空にけん雲が現れたとき、この後の天気はどのように変化することが多いですか。

1. 天気が悪くなる。 2. 天気が良くなる。 3. 天気はまったく変わらない。 4. 強い風だけが吹き続ける。

問9 台風は災害をもたらすだけでなく、大雨を降らせることで、私たちの生活にどのような良い影響を与えることがありますか。

1. 気温が年中一定になること 2. 水不足が解消されること 3. 地震が起きなくなること 4. 風が完全にやむこと

問10 夕焼けが見えると、次の日の天気はどのようになると言われていますか。

1. 大雪になる 2. 雨が降る 3. くもりになる 4. 晴れる

問11 8月から9月ごろにかけての時期における、台風と日本との関係について正しいものはどれですか。

1. 日本付近に近づくことが多くなる。 2. 日本付近から遠ざかることが多くなる。 3. 日本付近で発生することが多くなる。 4. 日本付近で消えることが多くなる。

問12 台風の強い風で木がたおれたり、大雨でこう水が起きたりして、人々の生活に大きな被害が出ることを何といいますか。

1. 台風の進路 2. 台風によるめぐみ 3. 台風による災害 4. 台風の目

問13 積らん雲には、どのような雨を降らせるという特徴がありますか。

1. 長い時間をかけて弱い雨を降らせる。 2. 短い時間に大量の雨を降らせる。 3. 雨はまったく降らせない。 4. 霧のような細かい雨を少しだけ降らせる。

問14 台風の中心部分のことで、風も雨もやんでいることが多い場所を何といいますか。

1. 台風のすじ 2. 台風のうず 3. 台風の壁 4. 台風の目

答え合わせ・解説 No.2

問1	答え 2 1年中ふいている強い西風	日本の上空には1年中ふいている強い西風があり、台風はこの風の影 響を受けて進路が曲がります。
問2	答え 3 風も雨もやんでいることが多い	台風の目は台風の中心部分にあり、そこでは風も雨もやんでいることが多いという特 徴があります。
問3	答え 1 0から8のとき	空全体を10としたとき、雲の量が0から8のときが「晴れ」になります。9や10のときは「くもり」になります。
問4	答え 4 雲の量	空全体を10としたときの、空に見られる雲の割合のことを「雲の量」といいます。
問5	答え 2 上へと動く	冬に日本付近でふく風は、山にぶつかって上へと動くことで雲をつくり、日本海側に雪をふらせます。
問6	答え 3 台風による災害	台風が近づくと、強い風や短い時間の大雨によって、人々の生活に大きな被害が出ることもあり、これを台風による災害といいます。
問7	答え 4 水蒸気が少なくなって乾燥している状態	日本海側で雪をふらせた空気は水蒸気が少なくなって乾燥します。この乾燥した空気が山をこえてふくため、太平洋側は晴れやすくなります。
問8	答え 1 天気が悪くなる。	けん雲は、天気が悪くなる前に現れることが多いという性質があります。
問9	答え 2 水不足が解消されること	台風による大雨は、ダムなどの貯水量を増やすことで、水不足を解消することがあります。
問10	答え 4 晴れる	夕焼けが見えると、次の日は晴れるという言い伝えがあります。
問11	答え 1 日本付近に近づくことが多くなる。	8月から9月ごろにかけては、台風が日本付近に近づくことが多くなる時期です。
問12	答え 3 台風による災害	台風の強風や大雨によって、建物や自然、人々の生活に被害が出ることを「台風による災害」といいます。
問13	答え 2 短い時間に大量の雨を降らせる。	積らん雲は、短い時間に大量の雨を降らせる特 徴を持っています。
問14	答え 4 台風の目	台風の中心にある部分は「台風の目」と呼ばれ、風や雨がやんでいることが多いのが特 徴です。

問1 空にある雲が動いていくと、雨がふる地域はどのようにになりますか。

1. 雲が動くと、すべての地域で同時に雨がやむ。
2. 雲が動いても、雨がふる地域はずっと同じ場所のままである。
3. 雲の動きにともなって、雨がふる地域も変わっていく。
4. 雲が動くと、雨がふる地域は完全になくなる。

問2 冬の太平洋側で晴れる日が多くなるのは、山をこえてふいてくる空気がどのような状態になっているからですか。

1. 水蒸気が多くなって湿っている状態
2. 水蒸気が少なくなって乾燥している状態
3. あたたかい雨をたくさんふらせる状態
4. つめたい雪をたくさんふらせる状態

問3 南の方で発生した台風が、はじめは西の方へ動き、やがて北や東の方へと進んでいく、台風が通る道すじのことを何といいますか。

1. 台風の進路
2. 台風の日
3. 台風の寿命
4. 台風の強さ

問4 台風が近づいて強い風や大雨になると、どのようなことが起こるおそれがありますか。

1. 地下のマグマがふきだして、火山が噴火する。
2. 地面が大きくゆれて、地震が起こる。
3. 太陽の光がさえぎられて、日食が起こる。
4. 強い風や大雨によって、災害が起こる。

問5 台風が発生する場所は、地球のどのあたりにある海ですか。

1. 東の方の海
2. 北の方の海
3. 南の方の海
4. 西の方の海

問6 天気に関する言い伝えでは、昔の人はどのようなものを見て天気を予測していましたか。

1. 夕焼けや雲の様子
2. 気象衛星の写真
3. アメダスのデータ
4. 気温や湿度のグラフ

問7 台風による大雨が降ることで、水不足が解消されるのはなぜですか。

1. 海の水がすべて真水に変わるから
2. ダムや川にたくさんの水がたまるから
3. 雨水がすぐに蒸発して消えるから
4. 地面の土がすべて流されてしまうから

問8 台風が発生する時期や、日本付近を通過する時期について、正しく説明しているものはどれですか。

1. 冬にだけ発生し、春から夏にかけて日本付近を通過することが多い。
2. 夏から秋にだけ発生し、冬に日本付近を通過することが多い。
3. 春にだけ発生し、1年中日本付近を通過することが多い。
4. 1年中発生し、夏から秋にかけて日本付近を通過することが多い。

問9 空に雲がたくさんかかっている地域では、どのような天気になることが考えられますか。

1. つむじ風や竜巻
2. くもりや雨
3. 晴れや快晴
4. 砂あらしや霧

問10 台風は災害をもたらすだけでなく、大雨を降らせることで、私たちの生活にどのような良い影響を与えることがありますか。

1. 地震が起きなくなること
2. 気温が年中一定になること
3. 水不足が解消されること
4. 風が完全にやむこと

問11 空全体を10としたときの雲の量が、0から8のときの天気を何といいますか。

1. 晴れ
2. くもり
3. 雨
4. 風

問12 天気や雲の色、雲の量や形、雲の動く向きや速さなどを記録することを何といいますか。

1. 雨の測定
2. 気温の記録
3. 風の調査
4. 雲の観察

問13 台風のまわりでふいている風の、うずの向きはどちらですか。

1. たて方向
2. 時計回り
3. 反時計回り
4. ななめ上方向

問14 「夕焼けが見えると、明日の天気は晴れになる」というように、昔からの言い伝えによって天気を予想することを何といいますか。

1. 天気のことわざ
2. 天気予報
3. 気象観測
4. 天気図

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 3 雲の動きにともな ^{ちいき} って、雨がふる地域も変わっ ていく。	雲の動きにともな ^{ちいき} って、雨がふる地域も変わっていきます。
問2	答え 2 ^{すいじょうき} 水蒸気が少なくな ^{かんそう} って乾燥 ^{かんそう} している状態	日本海側で雪をふらせた空気は水蒸 ^{すいじょうき} 気が少なくな ^{かんそう} って乾燥 ^{かんそう} します。この乾燥 ^{かんそう} した空気が山をこえてふくため、太平洋側は晴れやすくなります。
問3	答え 1 台風の進路	台風が通る道すじのことを「台風の進路」といいます。南で発生した台風は、西へ進んだあと、北や東へ進むことが多いです。
問4	答え 4 強い風や大雨によって、災害が起こる。	台風による強い風や大雨は、私たちの暮らしに様々な災害をもたらす原因になります。
問5	答え 3 南の方の海	台風は、南の方の海上で発生します。
問6	答え 1 夕焼けや雲 of 様子	昔は気象衛星やアメダスがなかったため、夕焼けや雲の様子などを見て天気を予測していました。
問7	答え 2 ダムや川にたくさんの水がたまるから	台風がもたらす大量の雨がダムや川に流れ込 ^こ んで蓄 ^{たくわ} えられるため、水不足が解消されます。
問8	答え 4 1年中発生し、夏から秋にかけて日本付近を通 ^{くわ} 過 ^{くわ} することが多い。	台風は南の方の海上で1年中発生していますが、日本付近を通 ^{くわ} 過 ^{くわ} することが多いのは夏から秋にかけてです。
問9	答え 2 くもりや雨	雲がかかっている地域 ^{ちいき} では、くもりや雨の天気が考えられます。
問10	答え 3 水不足が解消されること	台風による大雨は、ダムなどの貯水量を増やすことで、水不足を解消することがあります。
問11	答え 1 晴れ	空全体を10としたとき、雲の量が0から8のときの天気を「晴れ」といいます。
問12	答え 4 雲の観察	天気や雲の色、量、形、動く向きや速さなどを記録することを「雲の観察」といいます。
問13	答え 3 反時計回り	台風のまわりでは、反時計回りに風がふいています。
問14	答え 1 天気のことわざ	昔からの言い伝えによって天気を予想する方法を「天気のことわざ」といいます。

問1 雲の観察をするときに、記録する項目として正しいものはどれですか。

1. 生き物の数や植物の高さ 2. 雲の動く向きや速さ 3. 風の強さと空気の重さ 4. 地面の温度やしめり気

問2 台風が日本に近づくと進路が東よりに曲がることが多いですが、これは日本の上空にどのような風がふいているためですか。

1. 冬だけにふく強い北風 2. 夏だけにふく強い南風 3. 1年中ふいている強い西風 4. 1年中ふいている強い東風

問3 台風の中心部分のことで、風も雨もやんでいることが多い場所を何といいますか。

1. 台風の日 2. 台風のうず 3. 台風の壁 4. 台風のすじ

問4 宇宙からとった雲の画像において、白いうずのように見えるものは何ですか。

1. すじ雲 2. 飛行機雲 3. わた雲 4. 台風の雲

問5 空全体を見わたしたときに、雲が空をおおっている割合のことを何といいますか。

1. 雲の高さ 2. 雲の量 3. 雲の重さ 4. 雲の形

問6 らんそう雲から降る雨の特徴として、正しいものはどれですか。

1. 広い範囲に、強い雨が短い時間降る。 2. 狭い範囲に、強い雨が短い時間降る。 3. 広い範囲に、弱い雨が長い時間降る。 4. 狭い範囲に、弱い雨が短い時間降る。

問7 夕焼けが見えるということは、どの方角の空が晴れていることを示していますか。

1. 西の空 2. 東の空 3. 南の空 4. 北の空

問8 南の方で発生した台風が、はじめは西の方へ動き、やがて北や東の方へと進んでいく、台風が通る道すじのことを何といいますか。

1. 台風の強さ 2. 台風の日 3. 台風の寿命 4. 台風の進路

問9 台風は、どのような場所で生まれて発達しますか。

1. 日本よりも北のつめたい海の上 2. 日本よりも南のあたたかい海の上 3. 日本のまわりにある高い山の上 4. 日本の近くの広い陸の上

問10 台風が近づいてきたとき、どのような天気の変化が起こりますか。

1. 風がまったく吹かなくなり、おだやかに晴れる。 2. 冷たい雪が降り続いて、気温が急に下がる。 3. 強い風が吹いたり、短い時間に大雨が降ったりする。 4. 霧が発生して、まわりが白くて見えなくなる。

問11 台風が進む方向の右側で、左側よりも風が強くふくのはなぜですか。

1. 台風の左側は、進む方向の風にさえぎられて風がふかなくなるから。 2. 台風の風の向きと、台風が進む方向が逆になるから。 3. 台風の右側だけ、まわりの空気があたたかくなって風が強まるから。 4. 台風の風の向きと、台風が進む方向が同じになるから。

問12 天気に関する言い伝えでは、昔の人はどのようなものを見て天気を予測していましたか。

1. 夕焼けや雲の様子 2. 気象衛星の写真 3. アメダスのデータ 4. 気温や湿度のグラフ

問13 台風が近づいて強い風や大雨になると、どのようなことが起こるおそれがありますか。

1. 地面が大きくゆれて、地震が起こる。 2. 強い風や大雨によって、災害が起こる。 3. 太陽の光がさえぎられて、日食が起こる。 4. 地下のマグマがふきだして、火山が噴火する。

問14 弱い雨を広い範囲にわたって、長い時間降らせる特徴を持つ雲の名前は何か。

1. わた雲 2. 積乱雲 3. らんそう雲 4. すじ雲

答え合わせ・解説 No.4

問1	答え 2 雲の動く向きや速さ	雲の観察では、天気や雲の色、量や形、雲の動く向きや速さなどを記録します。
問2	答え 3 1年中ふいている強い西風	日本の上空には1年中ふいている強い西風があり、台風はこの風の影 響を受けて進路が曲がります。
問3	答え 1 台風の目	台風の中心にある部分は「台風の目」と呼ばれ、風や雨がやんでいることが多いのが特 徴です。
問4	答え 4 台風の雲	宇宙から撮影した雲の画像を見ると、白いうずのように丸く巻いているものが台風の雲です。
問5	答え 2 雲の量	空全体に対して雲がどれだけの割合を占めているかを「雲の量」と呼びます。
問6	答え 3 広い範囲に、弱い雨が長い時間降る。	らんそう雲は、弱い雨を広い範囲にわたって長い時間降らせる特 徴があります。
問7	答え 1 西の空	太陽が沈む西の空が晴れていると夕焼けが見えるため、西から天気が回復することを示しています。
問8	答え 4 台風の進路	台風が通る道すじのことを「台風の進路」といいます。南で発生した台風は、西へ進んだあと、北や東へ進むことが多いです。
問9	答え 2 日本よりも南のあたたかい海の上	台風は、日本よりも南にある、あたたかい海の上で発生します。
問10	答え 3 強い風が吹いたり、短い時間に大雨が降ったりする。	台風が近づくと、強い風が吹いたり、短い時間に大雨が降ったりする特 徴があります。
問11	答え 4 台風の風の向きと、台風が進む方向が同じになるから。	台風の進行方向の右側では、台風自身の風の向きと進む方向が同じになるため風が強まり、左側では逆になるため弱まります。
問12	答え 1 夕焼けや雲 of 様子	昔は気象衛星やアメダスがなかったため、夕焼けや雲の様子などを見て天気を予測していました。
問13	答え 2 強い風や大雨によって、災害が起こる。	台風による強い風や大雨は、私たちの暮らしに様々な災害をもたらす原因になります。
問14	答え 3 らんそう雲	弱い雨を広い範囲に長い時間降らせる特 徴を持つ雲は、らんそう雲と呼ばれます。

問1 「夕焼けが見えると、明日の天気は晴れになる」というように、昔からの言い伝えによって天気を予想することを何といいますか。

1. 天気予報 2. 天気のことわざ 3. 気象観測 4. 天気図

問2 「山に傘のような雲（かさ雲）がかかると雨が降る」という、山にかかる雲のようすから天気を予想する昔からの教を何と言いますか。

1. 山にかかる雲の言い伝え 2. 天気図のきまり 3. 気象衛星の観測 4. アメダスの記録

問3 空全体を10としたとき、天気が「晴れ」になるのは、雲の量がどの範囲のときですか。

1. 0のときだけ 2. 9から10のとき 3. 5から10のとき 4. 0から8のとき

問4 冬に日本付近でふく風が、日本海から水蒸気を受け取って山にぶつかり、上へと動いて雲をつくることで、日本海側にたくさんの雪をふらせる天気のことを何と言いますか。

1. 夏の日本海側の天気 2. 冬の太平洋側の天気 3. 冬の日本海側の天気 4. 夏の太平洋側の天気

問5 日本付近の雲は、ふだんの方角からどの方角へと動いていますか。

1. 東から西 2. 西から東 3. 南から北 4. 北から南

問6 冬の日本海側の天気において、日本付近でふく風が山にぶつかった後、雲をつくるためにどのように動きますか。

1. 上へと動く 2. 下へと動く 3. 左右に分かれて動く 4. その場で止まる

問7 台風の予報円が表していることについて、正しく説明しているものはどれですか。

1. 台風が完全に消えてなくなる範囲を表している。 2. 台風の雨が一番多く降る範囲を表している。 3. 台風の風が一番強くなる範囲を表している。 4. 台風の中心が入ると考えられる範囲を表している。

問8 人工衛星の雲画像とは、どのような場所から、何を撮影したのですか。

1. 地上から空を撮影し、星の様子を表したもの 2. 飛行機から地面を撮影し、道路の様子を表したもの 3. 宇宙から地球を撮影し、雲の様子を表したもの 4. 海の中から陸を撮影し、波の様子を表したもの

問9 南の方で発生した台風が、はじめは西の方へ動き、やがて北や東の方へと進んでいく、台風が通る道すじのことを何と言いますか。

1. 台風の強さ 2. 台風の日 3. 台風の寿命 4. 台風の進路

問10 空全体を10としたとき、雲の量が9から10のときの天気は何ですか。

1. くもり 2. はれ 3. 雨 4. 雪

問11 「山に三度雪がふると、ふもとでも雪がふる」ということわざがありますが、なぜふもとよりも山の上のほうで先に雪が降るのですか。

1. 山の上のほうの風が弱いから 2. 山の上のほうの気温が低いから 3. 山の上のほうの太陽に近いから 4. 山の上のほうの空気が乾燥しているから

問12 台風が完全に通りすぎたあとの天気は、一般的にどのようなことが多いですか。

1. 急に気温が下がり、冷たい雪が降り始める 2. 風や雨がさらに強くなり、大雨が降り続く 3. 風や雨がおさまり、すっきりと晴れわたる 4. 強い風はそのまま、大雨だけがやむ

問13 天気のことわざで、夕焼けが見えるとき、次の日の天気はどうなると言われていますか。

1. 晴れになる 2. 雨になる 3. 雪になる 4. 嵐になる

答え合わせ・解説 No.5

問1	答え 2 天気のことわざ	昔からの言い伝えによって天気を予想する方法を「天気のことわざ」といいます。
問2	答え 1 山にかかる雲の言い伝え	山に傘 ^{かさ} のような雲がかかると雨が降 ^{ふる} るといような、山にかかる雲のようすから天気を予想する昔からの教えを「山にかかる雲の言い伝え」と言います。
問3	答え 4 0から8のとき	空全体を10としたとき、雲の量が0から8のときが「晴れ」になります。9や10のときは「くもり」になります。
問4	答え 3 冬の日本海側の天気	冬に日本付近でふく風は、日本海から水蒸 ^{すいじょうき} 気を受け取り、山にぶつかって上へと動くことで雲をつくり、日本海側にたくさんの雪をふらせます。
問5	答え 2 西から東	日本付近にある雲は、およそ西から東へと動いています。
問6	答え 1 上へと動く	冬に日本付近でふく風は、山にぶつかって上へと動くことで雲をつくり、日本海側に雪をふらせます。
問7	答え 4 台風の中心が入ると考えられる範囲 ^{はんい} を表している。	予報円は台風の中心が動いてくると考えられる範囲 ^{はんい} を表したもので、風や雨の強さを表すものではありません。
問8	答え 3 宇宙 ^{うちゅう} から地球 ^{さつえい} を撮影し、雲の様子を表したものです。	人工衛星の雲画像は、宇宙 ^{うちゅう} にある人工衛星から地球 ^{さつえい} を撮影して、雲の様子を表したものです。
問9	答え 4 台風の進路	台風が通る道すじのことを「台風の進路」といいます。南で発生した台風は、西へ進んだあと、北や東へ進むことが多いです。
問10	答え 1 くもり	空全体を10としたとき、雲の量が9から10のときの天気を「くもり」といいます。
問11	答え 2 山の上のほうが気温が低いから	山頂 ^{さんちょう} 付近はふもとよりも気温が低いため、ふもとよりも早く雪 ^ふ が降ります。
問12	答え 3 風や雨がおさまり、すっきりと晴れわたる	台風が通りすぎると、それまでの激 ^{はげ} しい風や雨はおさまり、青空が広がってすっきりと晴れわたることが多くあります。
問13	答え 1 晴れになる	天気のことわざでは、夕焼けが見えると明日の天気は晴れになると言われています。